

團伊玖磨 生誕100年記念 2024年9月29日(日) 八丈町多目的ホール「おじゃれ」

# 「筑後川 IN 八丈島 2024」参加者募集!

## 團伊玖磨と八丈島



團伊玖磨は1924年(大正14)4月7日東京生まれ。青山学院中等部在学中に音楽家を志し山田耕筰に師事。42年東京音楽学校(現東京芸術大学)作曲科に入学。44年陸軍戸山学校音楽隊に入隊。45年終戦とともに復学し、同年卒業。この時期に『花の街』、49年『ぞうさん』、52年の『夕鶴』をはじめ数々の名曲を残す。2001年5月17日、中国・蘇州で急逝した。

團伊玖磨と八丈島の縁は、1962年山田耕筰に伴われ初来島したときに始まる。團はメリハリの利いた島の自然がたいそう気に入り、翌63年樫立に仕事場を完成させ創作の拠点とした。1970年8月、「八丈島の人々に芸術の薫り高い音楽を」と、「團伊玖磨 夏の夜のコンサート」を開催、内外の一流音楽家の出演する音楽会は、島の人々の夏の楽しみの一つとなり、聴衆

でいっぱいになった。73年、團の功績に対し、八丈町は「名誉町民」の称号を贈った。

團は盛んな音楽活動のかたわら頻繁に外国を訪れ、国際交流にも貢献した。『パイプのけむり』などの著作は人生と文明への深い洞察に裏付けられた文章で、多くの読者を魅了した。1999年、文化功労者に列せられた。

八丈島の自然に癒され、島のすばらしさを伝える文章を数多く遺した。

93年二男紀彦の設計による広い石畳の庭とステージを備えた新しい仕事場が完成し、2002年5月から團伊玖磨を偲ぶ地域住民のコンサートが開かれた。

この「筑後川」合唱組曲は八丈島の樫立にあるアトリエで完結した。地元の合唱団「八丈混声合唱団」は團作品の多くを精力的に歌い継いでいる。

## 混声合唱組曲『筑後川』

1968年に作られた作品。丸山豊の詩『筑後川』は、九州の中央部にそびえる阿蘇山に降った雨が、小さなせせらぎから大河となって有明海にそそぐまでを描いている。この曲は日本の代表的な合唱曲として知られ、特に「河口」は全国の中学校の卒業式で歌われる歌としてベスト3に入る人気曲となった。2015年11月1日、八丈町多目的ホール「おじゃれ」で行われた『筑後川 IN 八丈島 2015』では、全国から集まった合唱愛好者240人による大合唱が行われた。

### 申込書

フリガナ  
お名前

〒  
住所

連絡先 電話

メール

所 属 学校・クラブ

希望パート 未定 sop. alt. ten. bas.



ベテラン声楽家による  
個人練習・合同練習で  
初心者でも大丈夫です  
お気軽にお申し込み  
下さい

申込書を下記に FAXか、写真をメール  
して下さい。その他ご不明な点はお問  
合せください。

FAX: **04996-2-4949**

メール: **bbki8jo@yahoo.co.jp**

電話: **090-2443-0184**

筑後川実行委員会  
八丈混声合唱団 代表 **山下 行き**

(個人情報は保護されます)